

連合エコライフ

ピークカットアクション冬

の取り組み

～一人ひとりの節電で、電力不足を防ごう！～

取り組み強化月間
2023年1月～2月



1. この冬、電力需給ひっ迫への懸念

電力需給ひっ迫への対応と
環境問題への取り組みの
両面から、節電をしよう！

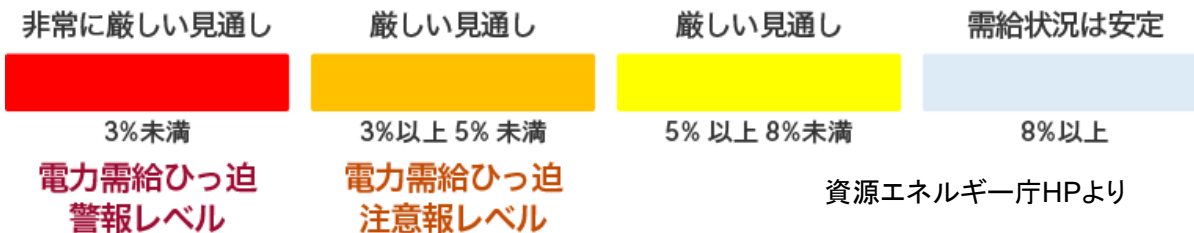
この冬は特に、電力需給ひっ迫
が懸念されている。

電力の安定供給に必要な予備
率である8%に対し、この冬は1・2
月に5%を下回るエリアがあるな
ど厳しい見通し。

厳寒時の需要に対する予備率

	12月	1月	2月	3月
北海道	14.4%	7.9%	8.1%	12.1%
東北		4.1%	4.9%	11.5%
東京	9.2%			
中部	7.4%	5.6%	6.5%	
北陸				
関西				
中国				
四国				
九州				
沖縄	44.5%	33.1%	34.4%	56.6%

電力需給に関する検討会合(2022.11.1)をもとに連合作成



資源エネルギー庁HPより

1. この冬、電力需給ひっ迫への懸念

～節電をしないとどうなるか～

- 予備率に応じた対応

予備率	対応
5%以下	「電力需給ひっ迫注意報」の発令
3%以下	「電力需給ひっ迫警報」の発令

- それでも電力が不足すると、計画停電の実施も

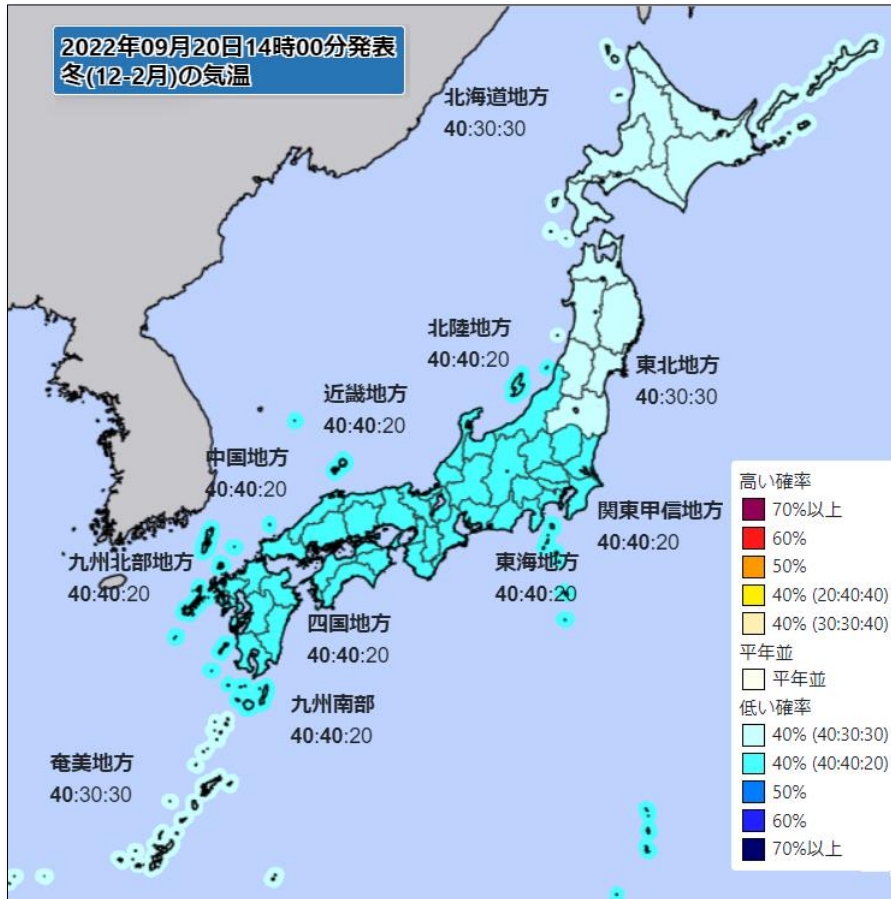
経済・社会に
大きな影響！

- 電力の需給バランスが壊れると、大停電の可能性も・・・



1. この冬、電力需給ひっ迫への懸念

～(参考)この冬の気温～



寒候期予報(気象庁HP)

全国的にこの冬の気温は「平年並み」か「低い」見込み。

冬に気温が低くなると、暖房機器の使用などで電力需要が高まる。

2022年3月には「地震による火力発電所の稼働停止」と「気温の低下」により、初の「電力需給ひっ迫警報」が発令された。

不測の事態によって予備率が低下することもある。

2. 環境問題へ取り組む必要性

(1) 産業革命以降、気温は現在時点で1°C上昇。
今後さらに気温が上昇すると、異常気象の強度や頻度が上がる。

1850-1900からの気温上昇		1°C (現在)	1.5°C	2°C	4°C
10年に1度の極端な高温(熱波など)	高温の水準	+1.2°C	+1.9°C	+2.6°C	+5.1°C
	発生頻度	2.8倍	4.1倍	5.6倍	9.4倍
10年に1度の大雨(豪雨災害など)	雨量	+6.7%	+10.5%	+14.0%	+30.2%
	発生頻度	1.3倍	1.5倍	1.7倍	2.7倍

特に夏は
熱中症のリスクと
生産性への影響も

IPCC第6次評価報告書第1作業部会報告書 政策決定者向け要約 暫定訳(文部科学省及び気象庁)をもとに連合作成



- 地球温暖化が進むと、異常気象(自然災害)による被害が拡大する
- ほかに、水・食料安全保障のリスクや生態系への影響なども

世界各国で自然災害が発生

2. 環境問題へ取り組む必要性

(2) 世界は「1.5℃目標をめざす」

COP26(2021年に開催された国連気候変動枠組条約の締約国会議)にて、「産業革命以前からの気温上昇を1.5度以内に抑えることを目指して、努力を追求することを決意」することで合意。

(3) 日本の目標

2030年までに	2050年までに
温室効果ガスを 46～50%削減(2013年比)	カーボンニュートラル実現 (温室効果ガスの排出を全体として ゼロにする)



上記の目標達成に向け、労働組合としても
持続可能性・SDGsの観点を踏まえ、取り組みを進めている

3. 取り組もう！ ピークカットアクション

持続可能な社会・経済を実現すべく、
各職場での取り組みを進めよう！

- 毎年の夏と冬、電力消費量の“ピーク”を“カット”するため、節電の“アクション”を各職場で実践する。
- 2022年11月～23年3月が取り組み呼びかけ期間。**強化月間は特に電力消費が多い1・2月。**
- 器材を連合ホームページに掲載し、活用を呼び掛ける。
<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kurashi/kankyoku/#senzai>

一人ひとりの節電で、電力不足を防ごう！

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

13 気候変動に
具体的な対策を

連合エコライフ

OFF

ピークカットアクション冬

OA 機器

- ☐ 省エネモードを設定し、未使用時には電源をこまめに切る。
- ☐ プリンター等の共有機器の使用台数を必要最低限に。
- ☐ 仕事おわりには共有機器の主電源をオフ。
できればテーブルタップの電源もオフ。

省エネモード

空調

- ☐ 屋内、屋外等の職場環境に応じた服装の調整。
ウォームビズの実践を。
- ☐ 適度な換気と適度な温度と湿度。暖房機器の使用時は、カーテン・ブラインドの使用とサーキュレーターを活用で空調の効率化を。
- ☐ エアコンのフィルターなど機器のこまめな清掃で空気をきれいに。

照明・明るさ

- ☐ 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどの、こまめな消灯を。
- ☐ LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の間引きを。
- ☐ あかりの量は調整し、目に負担をかけないように。

冷蔵庫(自動販売機)

- ☐ 詰め込み過ぎず、温度設定は控えめに(強にしない)。
- ☐ 扉の余分な開閉をせず、開閉時間も短く。

WC トイレ

- ☐ 温水洗浄便座は、温度設定を控えめに。
- ☐ 流水洗浄時と使用後は、便座のふたを閉めて。

フロア間の移動

- ☐ 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に。

【☐】印は、自宅等でのテレワークにおいても心がけたい項目



3. 取り組もう！ ピークカットアクション

一人ひとりの節電で、電力不足を防ごう！
連合エコライフ
ピークカットアクション冬

各職場で
節電の取り組みを
“強化”しよう！

強化月間

の取り組み

(2023年1月・2月)

- 厳冬期は電力需給ひっ迫のリスクが高まるので、さらなる節電を心がけよう。
- 連合ホームページにて、「ピークカットアクション」の取り組みスローガンを募集(～12月12日)。選考作品には記念品を贈呈！
<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kurashi/kankyuu/#ecolife>
- 選考されたスローガンを使って、ピークカットアクションのさらなる強化を呼び掛けよう(1月、2月)。

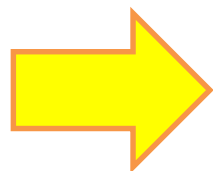
3. 取り組もう！ピークカットアクション

ITUC「つくろう！気候変動と雇用に強い職場」

「気候変動としごとについて、職場で話題にしていますか？」など、地球温暖化と職場・産業について、労使対話を呼びかけるキャンペーンをITUC(国際労働組合総連合)が実施。



6月にはアピールアクションを実施



この冬は、ピークカットアクションの一環として「電力ひっ迫時の職場の対応」などについても、あらかじめ労使で話し合っておきましょう！

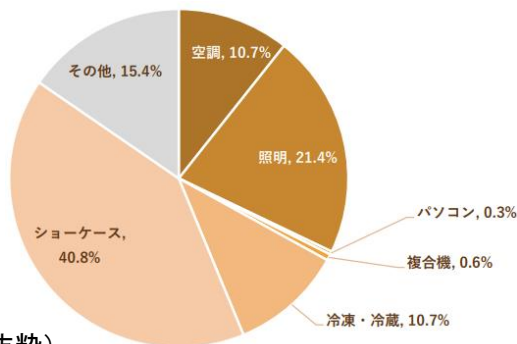
3. 取り組もう！ピークカットアクション

もっと詳しく知りたい方は・・・

経済産業省が、各事業における省エネ・節電メニューのパンフレットを作成。

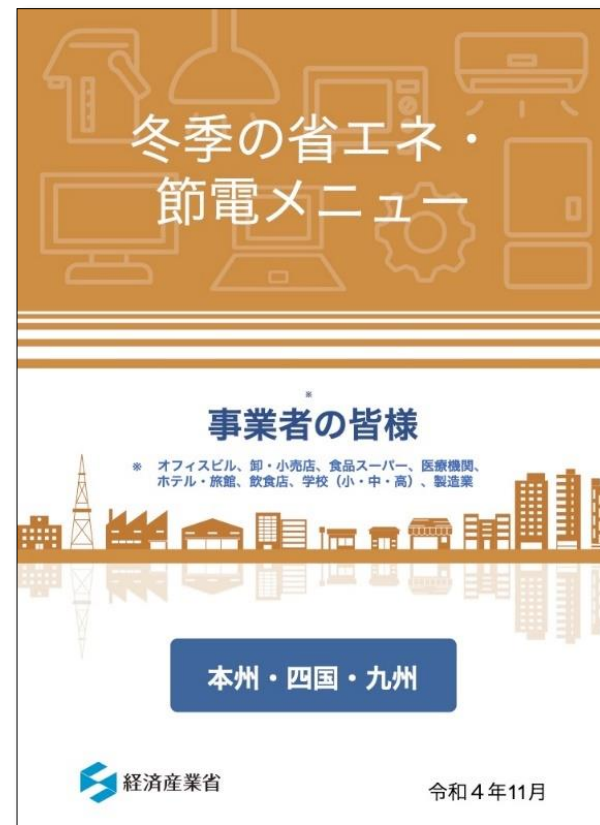
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/shoene_setsuden/

例1：食品スーパーにおける電力消費内訳（冬季の1日間）



例2：製造業における省エネ・節電メニュー（一部抜粋）

ボイラー	排ガスによる放熱ロスを避けるため、空気比の適正化を図る。
工業炉	加熱炉、焼成窯、乾燥炉等の設定温度引き下げや、開口部から炉内への空気混入量低減等により、熱ロスの低減を図る。



4. 環境に関する連合の政策実現

各職場での取り組みをベースに、連合は以下の環境に関する政策実現の取り組みを実施。

(1) グローバルネットワーク

ITUC(国際労働組合総連合)のネットワークで、労働組合の意見をG7、G20、COPへ。

(2) 環境省への政策要請

重点政策要請を毎年実施。
連合が求める環境政策は以下で確認できます。

https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/seisaku_jitsugen/teigen/page-3/page-3-18/

(3) 政府会議・審議会等への参画

国の会議・審議会等(GX実行会議、中央環境審議会など)へ労働者の委員として参画し、カーボンニュートラルの実現に向けて「公正な移行」の必要性などを意見



要請書手交の様子(左: 山口環境大臣、
右: 清水連合事務局長)

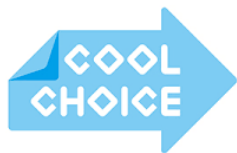
5. 連合エコライフ・通年の取り組み

(1)「環境にやさしい生活」

- 日常生活でできるエコな取り組みを実践しよう。
- 器材は連合ホームページに掲載。

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kurashi/kankyuu/#senzai>

(2) 政府「クールチョイス」



未来のために、いま選ぼう。

- 日々の生活の中で、脱炭素社会づくりに貢献する選択をする取り組み。
- 連合は「クールチョイス」の賛同団体のひとつ。

連合エコライフ
環境にやさしい生活

- 1 環境に配慮した製品を選択しよう**
ECO
● 消毒液の補充は、詰め替え用で(※)。
- 2 国産および身近な地域でつくられた食品や製品を選ぼう**
● 利用するなら、感染防止対策がとられたお惣菜サービスを。
- 3 電化製品を上手に使って消費電力を減らそう**
● 主電源は切って待機電力削減。
- 4 水の蛇口はこまめに閉めよう**
● 手をよく洗おう。入口には消毒液。洗面所・トイレには石鹸を。
● 共用部分は清潔に。よく触られるところはマグネシウム除菌、消毒を。
- 5 通勤はエコ通勤・エコドライブで**
● 通勤は混雑を避けて、密回避。
- 6 ゴミは減量し、再利用可能な資源を分別して有効利用しよう**
● テイクアウトの容器は、しっかり分別。
● ゴミ出しは、収集される方への配慮を。
- 7 マイエコバッグ、マイスプーン・マイフォークを利用しよう**
- 8 食品廃棄・ロスは減らそう**
● 買いだめはやめて、本当に必要なものを必要な時に。
- 9 使った紙はリサイクルへ。木材製品は国産材・間伐材のものを選び森林にやさしく**

※ 成分や用法について、取り扱い事項を守ってください。

ここからダウンロード

日本労働組合総連合会(連合)

ご清聴ありがとうございました
～取り組みもう！ピークカットアクション～